

自主防犯組織さめうらポリス（高知県）

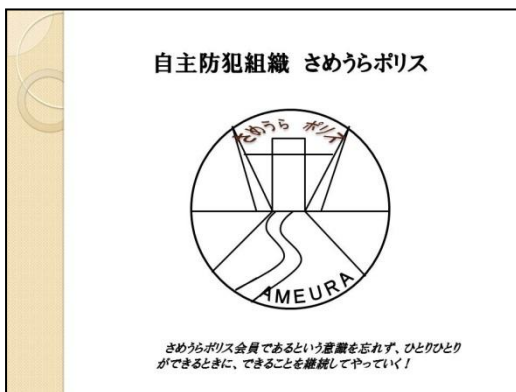
活動地域と団体の概要



川田氏 高知から参りました、会長の川田でございます。平成13年6月8日、大阪教育大学附属池田小学校での事件がございました。その時に、警察庁が全国の警察署に必ず一つはタウンポリスを立ち上げるという方針を示したのが、われわれさめうらポリスの発足のきっかけです。活動の中身につきましては、事務局の正岡より説明を申し上げます

ので、よろしくお願ひします

正岡氏 さめうらポリスの活動について御紹介させていただきます。最初にこのマークですけれども、私たちの土佐町は早明浦ダムというものがありまして、このダムをイメージして作成しております。さめうらポリスのユニフォームには全てこのマークをプリントしております。さめうらポリス会員であるという意識を忘れず、ひとりひとりができる時にできる事を継続してやっていくという意思の下、活動しております。



私どもが活動しているのは、高知県土佐郡土佐町という所です。四国の真ん中に位置しております。日本三大河川、吉野川の源流地域にある自然に囲まれた町です。西日本一の貯水量を誇る四国の水がめ、早明浦ダムがある町でもあります。早明浦ダムはブラックバス釣りでも有名な所です。このダムが渇水時には、旧役場の建物が湖の中から出てくるというような事もあります。年々高齢化が進み、過疎化が懸念される町でもあります。人口減少を受けて子供たちの人数も減っております。土佐町内に3園あった保育園は1園に統合されました。6校あった小学校も1校にというように、小中学校、保育園ともに1校1園であり、小中連携教育が行われ、読書のまち土佐町としても取り組んでおります。



土佐町小中学校は、田舎には珍しいと思われ

るかもしれませんが、警備会社から派遣された警備員さんが常駐しております。校門や学校周辺など朝7時過ぎ位から夜7時近くまで、警備員さんが見守っております。

先ほど会長が述べたような理由からさめうらポリスはタウンポリスとして発足しまして、町内の地域安全推進員、少年補導員などをメンバーとして活動しております。現在、合計21人の会員がおります。

活動の概要

主な活動は □ □ □

5日 地域安全活動強化日 第3木曜日 通学路安全の日
20日 県民交通安全日 第3金曜日 少年補導活動強化日

の下校時を中心とした防犯パトロール

月2回(20時・21時) 夜間防犯パトロール

これらの活動に、本山警察署の駐在所員(土佐町内3駐在所)が同行してくれています。

上記の活動日以外にも各会員がパトロールや自宅周辺、通学路、横断歩道、スクールバス停留場などで交通事故防止や誘拐被害防止、声かけ活動を毎日行っており、活動が途切れることはありません。

また、高知県立津北高等学校の自主防犯組織レイホクフリューゲルズ(県下初の高校生による自主防犯組織)との合同防犯パトロールも実施。
さめうらポリスは指導的立場も担っています。



さめうらポリスとしての主な活動としましては、高知県では毎月5日に地域安全活動強化日というものがあります。また、第3木曜日を通学路安全の日に制定しております。さらに、20日は県民交通安全日、第3金曜日は少年武道活動強化日になっておりまして、これらの日を中心とした下校時を中心に防犯パトロールをしております。この中の第3木曜日の通学路安全の日は、平成19年に高知県警として取り組みが始ま

ったものでして、この日についてはPTAでありますとか、老人クラブ、婦人会といったそれぞれの団体が朝から夕方にかけて、より一層見守り活動をしようという活動しております。そのほか、月2回の夜間防犯パトロールがありますが、こうした活動日以外にも各会員さんがそれぞれに活動を行っておりまして、活動が1日も途切れる事はないといった状況です。

また、高知県初の、高校生による自主防犯組織であります「レイホクフリューゲルズ」という団体があります。その団体との合同パトロールも行っておりまして、さめうらポリスは高校生に対する指導的な立場も担っております。

早明浦ダム湖周辺のパトロール活動

NPO法人さめうらプロジェクト(通称:らぶさめ)会員が早明浦ダム湖で開催されるブラックバス釣り大会や親子体験釣り教室等の開催時に会場周辺の交通マナー指導や車上ねらい防止等のパトロールやパンフレットなどを配布。船を使用しての不法投棄防止パトロールも実施。

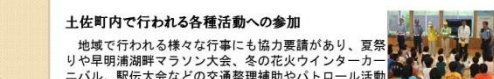
土佐町学校応援団としての活動

- 各会員が土佐町教育委員会の行う土佐町学校応援団に入会し、放課後子ども教室に参加
- 小中学校行事のマラソン大会や遠足などの際には各所に立ち、交通事故防止の見守り
- 参観日や体育祭などでは駐車場の誘導係
- 学校支援活動に参加し、野菜作りや音遊びの先生として指導

土佐町内で行われる各種活動への参加

地域で行われる様々な行事にも協力要請があり、夏祭りや早明浦湖畔マラソン大会、冬の花火ウィンターカーニバル、駅伝大会などの交通整理補助やパトロール活動を行っています。

土佐町ではなくてはならない存在となっております!



自主防犯組織さめうらポリス



平成15年に土佐町内の地域安全推進員、少年補導員、土佐町少年育成センター補導専門職員等で構成され活動を開始。その後、本山警察署田井駐在所連絡協議会員及びNPO法人さめうらプロジェクト(通称:らぶさめ)が入会。現会員は、土佐町田井・森・地藏寺駐在所連絡協議会員、地域安全推進員、少年補導員、土佐町少年育成センター補導専門職員、らぶさめ、さめうらポリスのみの会員、合計21名。

早明浦ダム周辺のパトロール活動であります。土佐町学校応援団、放課後子供教室の会員によりまして、それぞれの会員さんが活動しているというような状況です。あと、土佐町内で行われている各種活動にも積極的に参加、また要請等がありまして、土佐町ではなくてはならない存在になっております。

そのほか、防犯講演会、講習会、防犯教室、全国地域安全運動期間中に行う各種地域安全活動への参加、県警主催で行う活動にも積極的に参加をしております。

土佐町内の子供たちからは「いつも見守ってくれてありがとう」という意味を込めて、感謝のメッセージに子供たちがお店のスタンプを集めて購入した花を添えてプレゼントしてくれました。

また、日頃の活動が認められまして、元気プロジェクトというプロジェクトに選ばれ、新しい本も作成することができました。

会員の皆さんは、さめうらポリス以外にも土佐町内ではさまざまな役職に就いており、活躍しております。川田会長は、現在 30 以上の役職につかれて、毎日、忙しく活動しております。

会員の皆さんは、地域の事を本当によく知っています。地域の子供たちからお年寄りまでを本当によくご存じです。これを地域安全活動に生かして、地域の安全を守っています。本当に力強い存在だと思っております。私たちもいろいろなことを会員さんから学ぶことができっております。日頃の身近、地道な活動が認められまして、本当にたくさんの表彰を受けられております。そのほか各会員さん個人でも、いろいろな活動が認められて、表彰を受けられています。



土佐町は、本当にとっても安全で安心なまちなんですけれども、だからといって何もしなくたっていいということではなく、なにもしなければ安全で安心なまちは保たれないと会員さんは言います。安全・安心なまちだけでも犯罪や交通事故はやはり発生しています。何もしない、何もやらないでは土佐町の方々の住民の意識高揚は図れません。

見せる防犯活動と会長は言いますが、見せる防犯活動は、大変必要な事だと思いつつながら日々御一緒させていただいております。これからも、さめうらポリスの皆様と楽しみながら、また、やりがいを感じながら、安全・安心を一番に思いながら、活動を行っていきたく思っております。ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問 過疎化というお話をなされておりましたが、全国的に少子化、高齢化が進んでおります。そういった中で、防犯ボランティアの活動の多くは60歳代の方々が中心となっておりますが、さめうらポリスさんとしては、後継者の育成について何かアイデアとかありますか？

○回答 土佐町は、今高齢化率は43%ほどになっておりますし、俗に言う少子高齢化の町です。私は行政のOBですので、まずは定年後の後輩を引っ張り込むというのと、もう一つ、土佐町に三つの駐在所がありまして、それぞれ駐在所連絡協議会がございます。その中へ若者を入れていただいて、その人をさめうらポリスとして一本化したいと思っております。